

<児童・保護者・地域の実態>

- 児童は素直である。主体的に活動したり学習に取り組んだりすることは長年課題である。
- 児童の仲間関係が固定化し、表面的には仲間関係は良いが、一層仲間の気持ちを考えて行動することが求められる。
- 学習面での不適応を訴える児童が若干名いる。
- コミュニティ・スクール、保護者共に学校へ理解があり、協力的である。

学校の教育目標

①意欲を持って学ぶ子 ②仲良く高め合う子
③強い心と体を鍛える子

<学校課題>

- 学年単学級が多く、担任の個業が多い。指導方向の共通理解、共通行動が弱く、学級差が生じる。
- 教師の協働性を高め、指導力を相互に補充し、教師集団全体の指導力の向上が求められる。(特に、学級経営と教科指導)
- 教師になってよかったと思える、質的な働き方改革が期待される。

【本年度の重点(目指す児童の姿)】
自分から考え、動き、仲間と深く関わる子
 ~「やる気」と「思いやり」がいっぱいの稲津小学校~

全校共通の価値観 「3つの大切」

- ①ルールとマナーを大切にする
- ②自分と仲間を大切にする
- ③自分から進んで取り組む

具体的な方途(下線は重点)

自分から学ぶ子

○**自ら学ぼうとする意欲と習慣の育成**

- ・聞く・話す姿勢、学び方の徹底と話し方指導による授業への全員参加(学習集団の育成)
- ・習熟による基礎的・基本的な内容の着実な定着
- ・自ら求めて進める家庭学習習慣の育成

○**見方・考え方を基にし、対話を通して学ぶ授業づくり**

- ・魅力があり、1時間の追究に繋がる課題の設定
- ・見方・考え方を生かし、主体的に考える場面、表現(対話)する場面の工夫
- ・学んだ成果を実感できる評価の工夫、つまずきの早期発見と支援の励行

自分から関わる子

○**児童の主体的・自治的な活動の創出**

- ・生活のきまり(稲津小スタンダード)への意識向上と定着
- ・児童の声で動く、学級活動、児童会・委員会活動の創出
- ・やまびこ活動(異年齢集団活動)の充実

○**児童間の関わりを深める指導の充実**

- ・児童の「よさ」への価値づけと周りへ広める指導
- ・月ごとのめざす児童の姿に向けての統一した指導
- ・児童間コミュニケーション力の意図的、計画的な育成(SGE SST SELなど)

自分から育む子

○**自ら健康増進、生活習慣の向上に取り組む姿勢づくり**

- ・主体的に取り組む学級あそび、体づくり活動を通じた体力の向上
- ・自ら健康のために進んで取り組む感染防止、歯磨き運動
- ・交通安全意識の維持向上

○**児童の居場所・絆づくりと命を守る指導**

- ・アンケート等によるいじめやトラブルの早期発見と未然防止指導の充実
- ・災害時セルフディフェンス指導の工夫改善
- ・危機管理(教育相談・生徒指導事案を含む)の対応力向上と連携指導の促進

【本年度重点に向けた稲津小ならではの指導】

- 「ほめるとはその気にさせること」の考えのもと、児童を認め励ます支援を基本とする。
- 「まずは考えさせる、分からないときは教える」ことで児童の主体性を引き出す。
- 「相手の気持ちを考えさせる」ことで、児童のコミュニケーション力を高める。
※年間を通じた学級づくり(学級経営)の見直しをもった意図的・計画的な指導

【本年度重点に向けた稲津小職員の目指す教師像】

- 児童の意識を常につかみ、今、最適な指導を進める。特に困り感に寄り添う。
- 職員の組織を生かし、チームによる指導を進める。(学級差を作らない)
- 職員間の協働性を一層高め、指導観の統一と共通行動を行う。(提案力の向上と提案を受ける側の主体的取組)
※働き方改革の更なる推進と自己研修力の向上(「教師をやってよかった」)

【地域が誇り、地域と共にある学校づくり】

○**保護者連携**

- ・子どもに関わる情報発信をする。
- ・目指す姿を共有し、子を共に育てる意識の醸成と機会の創出をする。

○**コミュニティ・スクール**

- ・地域と目指す児童の姿を共有し、地域と共に子を育てる。
- ・地域の文化と町づくりを学ぶ、地域講師の生き様に学ぶ。
- ・地域のために働きかけようとする意欲を育む。